

図書だより



今月の目標!

◇郷土の本を読もう

令和6年11月号



きょうど ほん よ
郷土の本を読もう



白保小学校図書館に「郷土資料」のコーナーがあります。

「郷土」は自分の生まれ育った土地、ふるさとのことです。「資料」は調査や研究のもとになる材料やデータのことで、本もそのひとつです。

白保、石垣島、八重山、沖縄に関するいろいろな本を並べたたながあります。

その中から、絵本を中心にピックアップしておすすめしています。

ふるさとのすばらしさを発見するチャンスです。よんでみてくださいね。



『あんぱるぬゆんた』

文:代田昇 絵:宮良貴子

我が一やいまの自然環境を考える会

名蔵アンパルに生きる、15種類のカニ達が次々に出てきます。

カニ達が自分の強みをいかし協力しながら、生年祝いの準備を進めるといふ古いうたを題材にしたお話です。



『ちいさな島のおおきな祭り』

作:浜田桂子

新日本出版社

竹富島でいちばんの大きな祭り「種取祭り」に初めて出演することになった小学1年生のなつみ

はドキドキわくわくしています。お祭りの準備から本番までが丁寧にえがかれています。



『海に生きる! ウミガメの花子』

写真・文:黒部ゆみ

偕成社

沖縄で見られるアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種は、絶滅危惧種に指定されています。

ウミガメに迫る環境問題、地域の人々の努力、ウミガメの知識など、ウミガメの花子のかわいらしい表情やしぐさを通して多角的に伝える写真絵本です。



『琉球戦国列伝』

著・監修:上里隆史 イラスト:和々

ポーターインク

琉球が戦乱のさなかにあった約500~600年前の時代を生きた群雄たちとその物語をビジュ

アルで紹介。波照間島出身、石垣島の大浜村のオヤケアカハチは「王府に抵抗した反骨の英雄」として紹介されています。アカハチはピアスや首飾りをつけていたそうですよ!



このほかにもたくさん郷土の本があります。